

育ネットつなん

津南町教育委員会

育ネットつなん事務局

津南で育つ子どもたち
～地域の人たちに支えられ、豊かな原体験を～

育ネットつなん座長 涌井 泰二

吹雪の朝に

激しい横殴りの雪の中、近所の小学1年生の男の子が目の前を歩いていきました。私は思わず、「おはよう！今日は特に気をつけて行っておいで！」と声をかけると、その子は笑顔を見せながら手を挙げて挨拶を返してくれました。そして、狭くなった雪道を集団登校の集合場所へと向かって行きました。何気ない雪国の朝の光景ですが、1年生にとって雪道の登下校は一つの試練かもしれません。その小さな後ろ姿を見送りながら、私は雪国に育つ子どもたちのたくましさを見た気がしました。

子どもたちが成長して大人になったとき、自分の子どもたちにこの津南のことをどのように話すのでしょうか？将来どこで暮らすことになると、雪国の苦労や不便さ以上に「楽しく素敵な自分のふるさと（故郷）」として、自分の育った津南への愛を熱く語ってほしいと願っています。

子どもたちは、幼い頃から様々な体験の積み重ねの中で育っていきます。そうした日々の体験は、原体験となって自分の生き方や価値観にも影響を与えるバックボーンとなっていきます。その中でもとりわけ、人とのかかわりの中で得られる原体験は、身の回りの自然から得られる原体験とともに、とても大切なものです。様々な原体験の繰り返し、津南に生きる子どもたちを形作っていくのです。

地域の人たちとのかかわりの中で生まれる豊かな原体験

育ネットつなんの地域部会の活動と連携して、令和4年度からは「いクロスつなん」（地域学校協働活動本部）の活動が始まっています。保護者や地域の皆さんがボランティアとして学校現場に直接入って、子どもたちの教育活動を支援しています。小学校の登下校や水泳授業での安全の見守り、また、家庭科のミシン学習の補助や学校図書室での読み聞かせ、中学校では職業講話など活動の場は様々です。

田植えなどの体験活動にも多くの地域の方がかかわってくださっています。中には、上郷小学校の取組のように、子どもたちが地域の人たちから指導を受けながら大井平和紙の伝統を引き継ぎ、卒業証書を作る体験など、「いクロスつなん」以前からすでに37年も続いている活動もあります。本当にありがたいことです。

また、苗場山麓ジオパークと関連した地域学習でも、各校で多くの地域の方が、様々な分野で子どもたちの探求活動を支援しています。今年度、中学1年生の学習では、子どもたちの設定した課題に対して地域コーディネーターさんの声かけで、20名近くの地域の方が津南の自然や暮らし、農畜産物、郷土料理、観光などで講師としてかかわってくださいました。「戦争」をテーマにした子どもたちは、「べんきょうするお母さんのひろば」の皆さんとともに活動する中で、かつてこの津南の暮らしの中でも太平洋戦争が身近にあったことを知ることができました。外丸地区に今も残る防空壕跡にも講師の皆さんから連れて行ってもらいました。その体験は、きっと子どもたちにとってかけがえのない原体験の一つとなって記憶されるに違いありません。

津南の子どもたちの原体験を価値あるもの、豊かなものしていくことは私たち大人の役目です。「いクロスつなん」などへの参加はもちろん、様々な地域行事への子どもたちの参加、朝夕の登下校時の声かけなど、津南に育つ子どもたちの原体験がさらに豊かになるよう、一層のご支援をお願いいたします。



「いクロスつなん」の皆さんに見守られながら下校する1年生

共通実践事項・達成目標・重点取組・評価	上郷小学校 芦ヶ崎小学校 津南小学校	体的な 具	津南中学校	津南中等教育学校
<p>I 早寝早起き・朝ご飯運動を通してこどもの心身の健康を守る</p> <p>① 家族の会話を増やして、メディアコントロールの習慣形成</p> <p>【親子でメディアコントロールの約束と習慣形成】 ・「メディアコントロール」の約束の確認と取組の推進(THCの活用等) ・各校でメディアコントロール・ネットラップル防止学習の確実な実施と、保護者への継続的な啓発</p> <p>② 毎月19日「育の日」は、『食育』と『メディアコントロール』の集中した取組</p> <p>【「育の日」「保健指導」での取組】 ・保健指導、食育、学級活動での取組</p>	 メディア講習会  THC学習(早寝、早起き、朝ご飯)  THC学習(早寝、早起き、朝ご飯)  THC学習(早寝、早起き、朝ご飯)	 THC学習(早寝、早起き、朝ご飯)  THC学習(早寝、早起き、朝ご飯)	 栄養教諭による箸の持ち方指導  給食での食育(マナー)	 地場産給食(にんじんジュースで乾杯)  ものづくり体験教室で日本料理を学ぶ
<p>II あいさつ運動の推進。 毎月10日を「あいさつの日」</p> <p>① 町ぐるみの『あいさつ運動』のため、組織・団体間の連携を継続</p> <p>② 園・校の取組紹介と大人の率先あいさつ</p> <p>【児童生徒の主体性を生かしたあいさつ運動の展開】 ・毎月10日の「あいさつ運動」の実施と学校だより等での発信(街頭)</p> <p>【保-小、小-小、小-中の連携・接続の充実を図る交流活動の実施】 ・各校種間が連携した取組の実践と教職員及び児童生徒の相互訪問交流と情報交換の継続</p>	 あいさつ運動  あいさつ運動	 あいさつ運動  あいさつ運動	 あいさつ運動  あいさつ運動	 あいさつ運動  あいさつ運動
<p>III 郷土に誇りをもち、家庭や地域のために行動する意欲の一層の向上を図る。</p> <p>① 家庭・学校・地域の連携で家庭や地域の一員として役割を果たすこどもの育成</p> <p>② 郷土愛を軸としたキャリア教育とジオパーク関連活動をつなぐ取組を工夫する。</p> <p>【津南の「ひと・こと・もの」に学ぶ、体験的な学習の一層の推進】 ・参観日等を活用し、児童生徒の「地域」に学び、地域に返す」姿を保護者へ発信・啓発</p> <p>・苗場山麓ジオパークや「なじよもん」等 地域資源と人材の活用(小学校)</p> <p>・職場見学や職場体験活動の充実 ＜地域部会との連携＞(中学校)</p>	 ジオパーク巡検  ジオパーク巡検	 ジオパーク巡検  ジオパーク巡検	 ジオパーク巡検  ジオパーク巡検	 ジオパーク巡検  ジオパーク巡検

※評価は、各校が実施状況で判断し、[1:取組は5割以下 2:取組は7割程度 3:取組は9割程度 4:すべて取り組めた(100%)]の中から回答、その平均値を満点が100となるように点数(25)を乗じて算出

